

# JREU TOKYO 業務部速報



2026.07.05 No.058

発行：JR東労組東京地本 業務部

## 東地申第15号 「上野統括センターにおける乗務ユニットの統合について」に関する申し入れ団体交渉を行う(その③)

(田端乗務ユニット) → 田端 (上野乗務ユニット) → 上野と読み替える

4.田端駅の終電対応について、7月1日以降の勤務指定を具体的に示すこと。

(回答)引き続き、役割分担にとられない柔軟な働き方を進めていく考えであり、勤務指定については就業規則等に則り取り扱うこととなる。

組合	会社
田端駅の終電対応は7月1日以降、どうするのか？	田端駅終電対応は7月1日以降も担って頂く。
どのような勤務指定を行うのか？	2パターン用意している。 ① 工臨との組み合わせ ② 「交代」と言う勤務認証で上野の作業ダイヤとして田端駅で作業する。
「交代」勤務の勤務時間は？田端駅に何時に行くのか？	上野に11:00出勤し、11:34の京浜に乗り、田端11:38到着。その後田端駅で勤務。翌日9:37上野駅着で帰り10:00退勤。上長の指示のもと、上野で作業してから田端駅に行くパターンもある。
出勤後、11:34の京浜に乗らず上野で作業後、田端駅に行く場合、必ずいなければいけない時間はあるのか	「●時には必ず田端駅にるように」と明記はしない。終電対応は0:15から始まるが、直前まで上野にて業務を行う想定をしていない。
工臨と組み合わせた融合行路は今までの田端時代の融合行路と変わらないのか。	変わらない。
融合行路と銘打って始めた田端駅での終電対応だが、本当に必要なのか？ 必要性はないと訴える。	今後必要かどうかは検討中。
0時出勤の融合行路はあるのか？	設定はない。確認
上記を担うのは田端社員か。	そうだ。確認

5.組合員・社員が新たに駅兼務や田端駅の終電対応の業務につく際は、見習いの進捗状況を担当駅管理者が把握し、見極めを行うこと。1人勤務に向けて不安があれば本人の意向を尊重し見習い期間を延長すること。

(回答)引き続き、必要な教育・訓練を実施していくとともに、社員の状況や習熟度等を勘案し、総合的に判断していく考えである。

組合	会社
駅兼務、駅融合行路の見極めは駅側で行うこと。	駅の業務になるので、駅側で行う。確認
社員の習熟状況を把握した中で、本人とコミュニケーションを取り、見習い期間の延長の判断も駅で行うでよいのか？	そうだ。駅側と乗務ユニット側で相違があってはならない。確認

その④へ続く